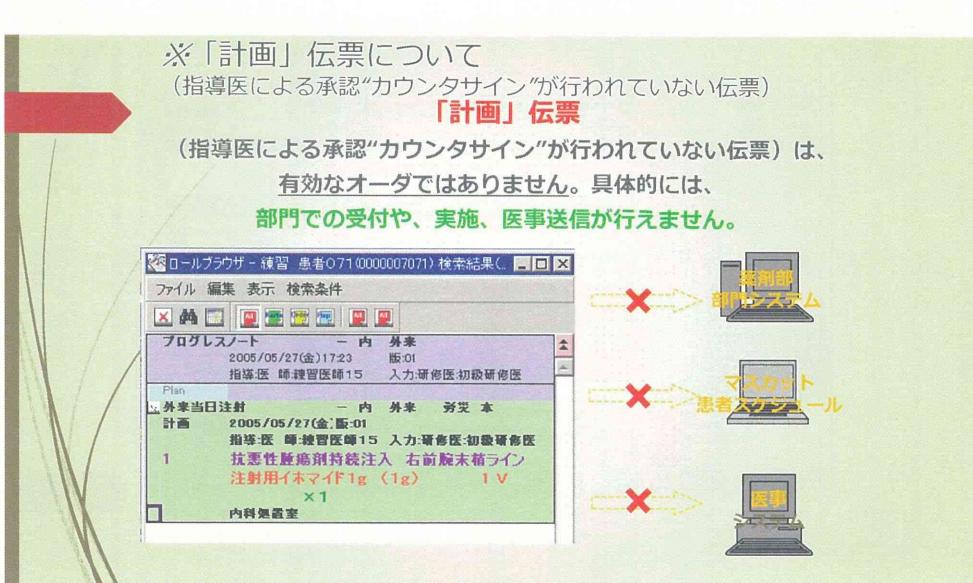


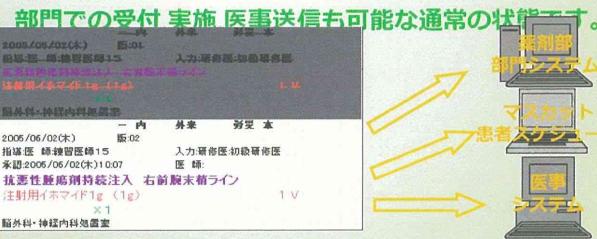
Screenshot 3: Medical History Summary (病歴要約)

This screenshot shows a detailed '病歴要約' form. It includes fields for patient identification (Name, Address, Date of Birth), diagnosis (主病名 or 共合併症), treatment information (医院名, 入院料金), and a large table for '既往歴' (Past History) with rows for '既往症', '既往歴', and '既往歴'.



計画伝票を指導医が承認 (カウンタサイン)

「計画」伝票は、指導医が承認（カウンタサイン）を行うと、通常の「依頼」伝票となり、有効なオーダーになります。

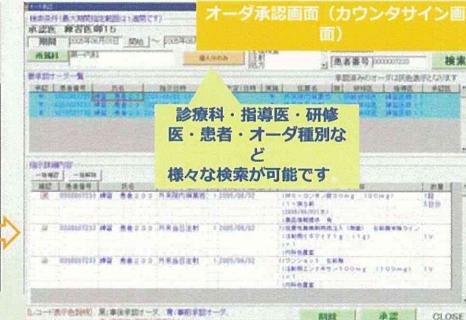


指導医による操作イメージ

「自分が担当指導医として指定されているオーダー」を閲覧するには

(↑研修医発行オーダーの内、自分が指導医として承認作業を行う必要があるオーダー)

「自分が担当指導医として指定されているオーダー」の閲覧は、
「オーダ承認画面」（カウンタサイン画面）で行います。



指導医による操作イメージ

「自分が担当指導医として指定されているオーダー」を承認するには
(↑研修医発行オーダーの内、自分が指導医として承認作業を行う必要があるオーダー)

方法1.

「オーダ承認画面」（カウンタサイン画面）

で行います。



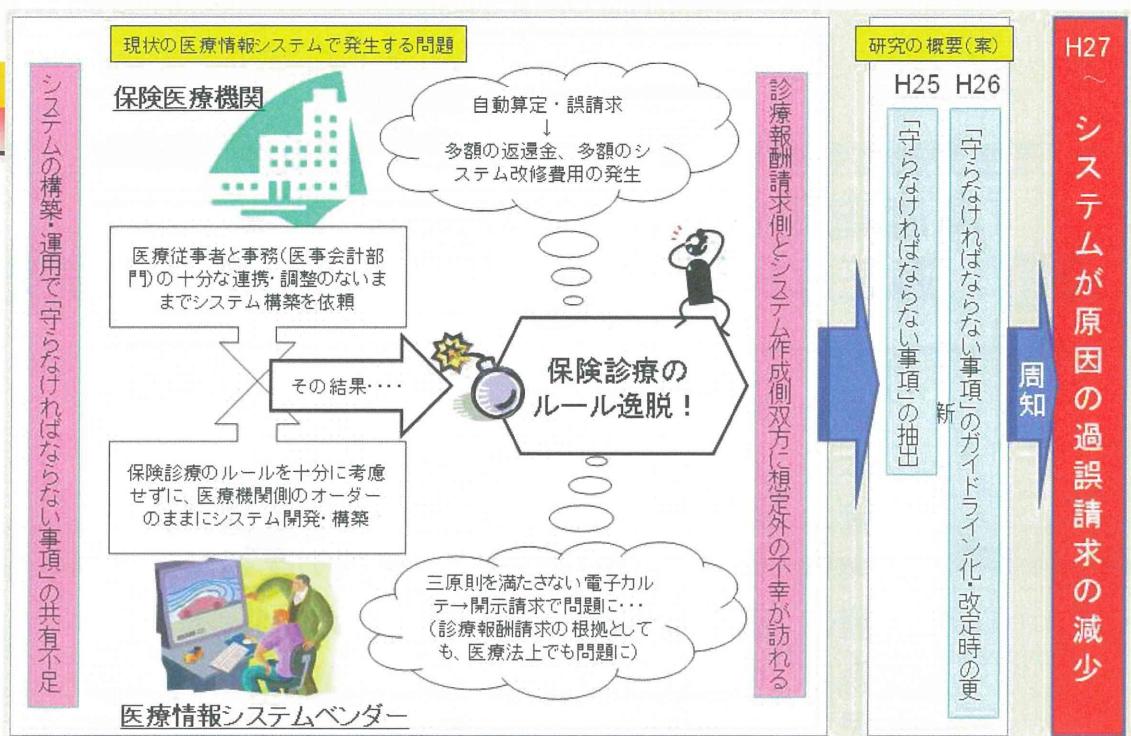
厚生労働省科学研究 H25－政策－一般-009
『高度電子情報化した
適正な保険診療体制の構築に関する研究』

合地 明 (研究代表者)	岡山大学病院)
本多 正幸(分担研究者)	長崎大学病院)
荒木 孝二(分担研究者)	東京医科歯科大学)
内堀 利行(分担研究者)	神戸大学病院)
豊田 建 (研究協力者)	九州大学)
森本 徳明(研究協力者)	森本歯科)
児島 純司(研究協力者)	音羽病院 MIRF)

研究目的

- 医療機関における電子カルテの導入が進められている中、保険診療に関わる個別指導、特定共同指導などの場で診療報酬請求の根拠として不十分との指摘を受けている。
- 指摘事項に対して個別ベンダーによる対応がなされている。
- 適正な保険診療をおこなうための電子カルテシステムのあり方についての指針の作成を目指す。

H27 ~ システムが原因の過誤請求の減少



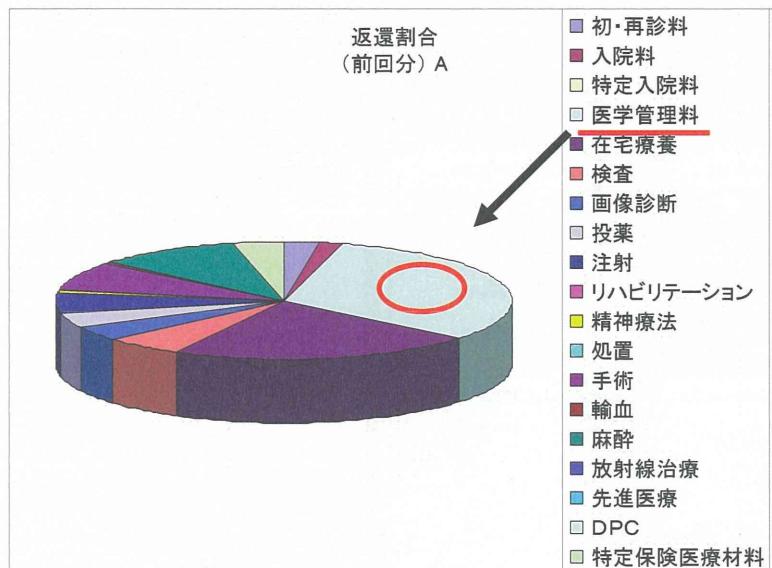
背景

電子カルテシステムは医事会計システム→オーダリングシステム
→電子カルテと進化してきた。

しかし、医事会計システムとの連携は不十分

- 近年、診療報酬算定において明確な要件が決められているがこれらの記録様式が欠落したり、明示できないケースが多い。
- 『電子カルテ』が保険診療のルールに適合したものであるかどうか数年前からも国立大学病院医療情報部長会でも話題となっている。
- この機会に電子カルテシステムの構築において保険診療を見据えたシステム構築のための指針作りを目指す。

岡山大学病院における指摘事項比率



悪性腫瘍マーカー特異物質指導管理料

悪性腫瘍マーカー管理指導

対象腫瘍マーカー

<input checked="" type="checkbox"/> AFP	<input type="checkbox"/> CA-125	<input type="checkbox"/> CA15-3	<input checked="" type="checkbox"/> CA19-9	<input type="checkbox"/> CA72-4
<input checked="" type="checkbox"/> CEA	<input type="checkbox"/> CYFRA	<input type="checkbox"/> PIVKA II	<input type="checkbox"/> ProGRP	<input type="checkbox"/> PSA
<input type="checkbox"/> NSE	<input type="checkbox"/> β -HCG	<input type="checkbox"/> AFP-L3%	<input type="checkbox"/> β 2-Microglobulin	<input type="checkbox"/> 免疫抑制糖蛋白(IAP)
<input type="checkbox"/> 1CTP	<input type="checkbox"/> BCA225	<input type="checkbox"/> Dupan-2	<input type="checkbox"/> GAT	<input type="checkbox"/> チーセミノプロテイン
<input type="checkbox"/> NCC-ST439	<input type="checkbox"/> SLX	<input type="checkbox"/> SCC抗原	<input type="checkbox"/> Span-1	<input type="checkbox"/> NTx
<input type="checkbox"/> エラスター γ 1	<input type="checkbox"/> 細胞膜リペプチド抗原(TPA)	<input type="checkbox"/> フリーPSA/トータルPSA比精密測定		
<input type="checkbox"/> complex-PSA	<input type="checkbox"/> シリアルTn抗原	<input type="checkbox"/> 前立腺酸性 fosfataze		

対象疾患

胃癌, 肝癌

腫瘍マーカー測定値と評価

測定値は検査にあるように正常範囲内。
 測定値は下に示すように異常値である。

CEA 250に急上昇

今後の治療計画

腫瘍マーカー著変なく、現行治療維続。
 腫瘍マーカー変動あり、以下の治療方針に変更。

抗癌剤の変更

カルテに展開 中止

省略可 テキスト TEXTBOX1

【アコム】 入院料金・看護料金・診療料金・検査料金

2005/10	2005/11	2006/12	2006/01
日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土	日 月 火 水 木 金 土
25 26 27 28 29 30 1	2 3 4 5 6 7	1 2 3 4 5 6 7	8 9 10 11 12 13 14
2 3 4 5 6 7	8 9 10 11 12 13 14	15 16 17 18 19 20 21	15 16 17 18 19 20 21
9 10 11 12 13 14 15	13 14 15 16 17 18 19	11 12 13 14 15 16 17	18 19 20 21 22 23 24
16 17 18 19 20 21 22	23 24 25 26 27 28 29	25 26 27 28 29 30 31	29 30 31 1 2 3 4
23 24 25 26 27 28 29	27 28 29 30	31	5 6 7 8 9 10 11
30 31			

【ケア項目】 漢服 西4F 政府本量身 保守具富士道0003
休眠 2005/12/02(金)0459
休了時間(日本未定)
記下版: 記茶
毎日

【ケア項目】 漢服 西4F 政府本量身 保守具富士道0003
休眠 2005/12/02(金)0459
休了時間(日本未定)
記下版: 記茶
毎日

【ケア項目】 漢服 西4F 政府本量身 保守具富士道0003
休眠 2005/12/02(金)0459
休了時間(日本未定)
記下版: 記茶
毎日

プログレスノート 2005/12/02(金)05:01 漢化器 西4F 政府本量身 保守具富士道0003
Plan

【ケア項目】 漢服 西4F 政府本量身 保守具富士道0000
休眠 2005/12/02(金)05:01
休了時間(日本未定)
【止】の記録

【ケア項目】 漢服 西4F 政府本量身 保守具富士道0003
休眠 2005/12/02(金)05:01
休了時間(日本未定)
【止】の記録

【ケア項目】 漢服 西4F 政府本量身 保守具富士道0003
休眠 2005/12/02(金)05:01
休了時間(日本未定)
【止】の記録

プログレスノート 2005/12/06(火)14:39 漢化器 休業 西4F 政府本量身 保守具富士道0003
Plan

【ソーフレート】 2005/12/06(火) 漢化器 休業 西4F 政府本量身 保守具富士道0003
悪性腫瘍マーカー管理指導
対象疾患
胃癌、肝癌
対象検査 マーカー⁺
CA19-9
CEA
測定マーカー測定値と評価
測定値は下に示すように異常値である。
詳細記述: CEA 25.0に急速上昇
今後の予測: CEAが急速上昇する
測定マーカー測定値あり。以下の治療方針に変更。
詳細記述: 治療方針の変更。

【アコム】 入院料金・看護料金・診療料金・検査料金

心臓ベースマーカー指導管理記録

検査記録

検査日: []

パルス幅: []

スパイク間隔: []

マグネットレート: []

刺激閾値: []

感度: []

その他: []

療養上の指導内容

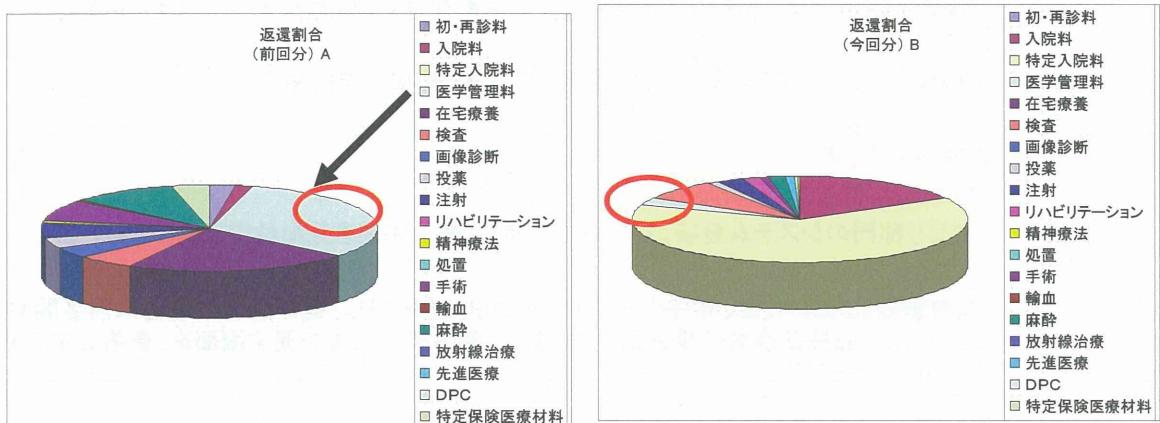
臨床経過著しく、現行治療維持。
 臨床症状等に変化あり、以下の治療方針に変更。

次回チェック日: []

カルテに展開 中止

省略可 TEXTAREA2

岡山大学病院における指摘事項比率



悪性腫瘍マーカー特異物質指導管理料

指摘事項と対応

(国立大学病院医療情報部長会アンケートより)

【医科】	リハビリ 時刻記載 診療情報提供 提供文書の原本保管(添付)
システム関連	
「医療情報システムの安全管理に関するガイドライン 第4.2版」に準拠 パスワード変更 アクセス権限管理 デフォルト入力の改善 病理診断関連(医事算定) 薬剤情報提供管理、先発変更不可 診療記録の分別 (保険診療、自費診療及び学生実習記録の区別)	
DPC	指導管理記録 定期文書で内容不十分(要点、指導内容) 肺血栓塞栓症予防管理料 評価記録(ガイドライン)不備
	感染防止対策加算 届出制の不備
	臨床研修病院入院診療加算 指導記録の不備 看護職員の勤務 時間・配置(病棟管理日誌による視認性確保) 院内掲示 重症病床における勤務医明示 DPC 施設基準など 給食オーダー ^{特別食は医師} 施設基準届出について 変更時の迅速な対応
病名	
整理(重複、保険病名が多数 転帰:疑い、急性期など) 保険病名でなく注釈、コメント	
入院診療計画書	
他職種作成 内容不備、定形入力(患者の病状に応じた個別文書)	
褥瘡管理	
算定基準厳守(責任者の記入のみ算定可)	

指摘事項と対応

(国立大学病院医療情報部長会アンケートより)

届出文書の作成について、進捗管理等が可能となる支援ツールを構築

- 承認機能において、指導医からのコメントの記載がないと承認できない設定に変更
- 医事算定上、セットで算定するよう設定していたため設定を解除
- 管理料ナビを導入
- リハビリ部門のシステム更新。リハ開始時間と、終了時間を分単位で入力できる。
- 「病名整理」においては、電子カルテ病名マスターを整備し、疑い病名の場合は病名開始日後3ヵ月、急性期病名の場合は5ヵ月後に、病名転帰入力を促す画面を、患者カルテを閉じる際にポップアップ。
- 「指導管理料のカルテ記載支援」においては、指導管理料の算定時に、算定要件を満たすためのカルテ記載支援として、各種指導料オーダーとテンプレートの紐付けを行い、オーダー時にテンプレートを表示するシステムを導入

ユーザー意見(国立大学病院)

■ (個別対応)

各大学病院が独自で、または、共通ベンダーのもとで、特定共同指導の指摘を受け、対応している。

■ (システムの共有化)

特定共同指導への対策だけでなく、電子カルテはじめ各種病院情報システムの標準機能の底上げ・改善のためにも情報共有が必要で迅速なパッケージ機能の充実を期待する。

■ (指導内容の標準化)

保険診療をしている医師が療担則を遵守して診療にあたることは自明ではあるが、指導官によって指導内容に、特に電子カルテにおいて差が大きいことも事実であると思われます。

■ (療担則の改正)

療担則の内容で電子カルテ時代にそぐわないものがあり、改訂していただきたい。

改善事例

岡大病院におけるDPC対応型退院サマリ



**退院サマリと
DPCコーディング病名の
不一致を無くするための
改善例**

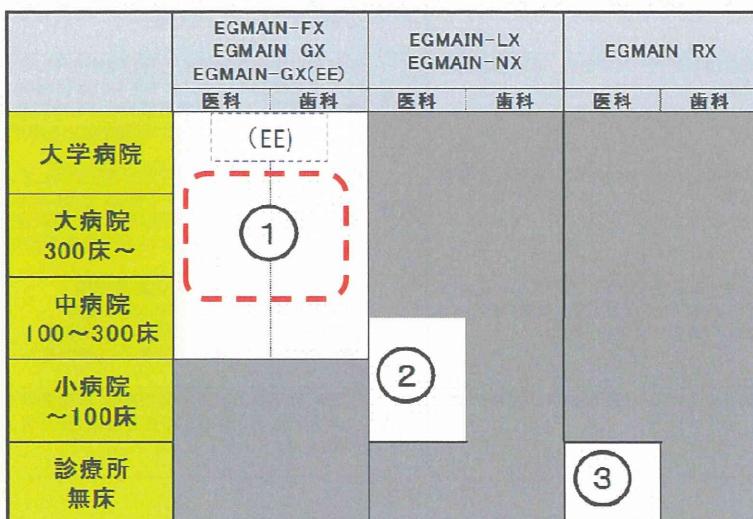
**退院サマリでDPCに対応
した表現形で病名入力
をおこなう**

The screenshot shows the 'Discharge Summary' software interface. In the top right, there's a 'DPC Information (Reference)' section with fields for 'Patient ID', 'Sex', 'Age', 'Admission Date', 'Discharge Date', and 'Diagnosis'. Below this is a large table listing various diseases with their ICD-10 codes and search results. The table includes columns for '病名' (Disease Name), 'ICD10コード' (ICD-10 Code), '開始日' (Start Date), '転帰' (Outcome), and '転帰日' (Outcome Date). A note at the bottom of the table says '新規病名登録' (New Disease Registration) and '既存病名登録' (Existing Disease Registration). The bottom of the interface has tabs for 'Print', 'Basic Information Output', 'Specialty Information Output', 'Previous', 'Next', 'Search', 'Exit', and 'Close'.

ベンダーからのヒアリング 現状:F社が提供している電子カルテパッケージ体系



下記のパッケージ毎にシステム的に対応した状況を調査した。



現在の状況：
共同指導により
システム改修を実施した
実績は概ね【①領域】
が中心であった。

2) 主たる指摘事項と対応状況

2-1) 医科系

項目	診療に関する事項 (分類)	指導(指摘)内容	対応機能	対応内容
1	傷病名に関する事項	医師以外(医事課等)が医師に承認を行わず病名入力をおこなっている。(承認がされていない)	個別	代行入力で病名登録した場合、医師は代行承認一覧から未承認病名の承認が行える仕組みを提供
2	傷病名に関する事項	DPC病名とカルテ病名との整合性が取れていない。	-	DPC病名を電子カルテ病名から選択する機能
3	傷病名に関する事項	DPC病名と退院時サマリ等との整合性が取れていない。	個別	医師はDPC入力を行わず、退院時サマリに必要な病名を入力しDPC画面に退院時サマリより取り込む
4	傷病名に関する事項	転帰を迎えた傷病名の整理が行えていない。	個別	未転帰有効病名の通知および一括転帰機能 マスターに登録した期間以上経過した未転帰病名が存在する場合、カルテを開くタイミングで転帰を促すメッセージを表示
5	基本診療料等に関する事項	入院診療計画書の記載不備。	共通化	病室項目・生年月日を記載可能に。 入院診療計画書中に未入力の項目が無いか、印刷時にチェックし、入力を促す機能を実装
6	指導管理料に関する事項	【外来栄養食事指導料、入院栄養食事指導料、集団栄養食事指導料】 栄養指導項目において、管理栄養士への指示項目は、少なくとも熱量・熱量構成・蛋白質量・脂質量・脂質構成(不飽和脂肪酸/饱和脂肪酸比)についての具体的な指示を行わなければならない。	個別	栄養指導画面の指示項目: 脂肪酸組成(S.M.P./3.4.3)が必須になるように対応
7	指導管理料に関する事項	指導管理料を算定した場合は、指導内容・治療計画をカルテに記載することが義務付けられている。(各指導料に基づく(関連する)指導記録)	共通化	指導記録機能よりそれぞれの対応したテンプレートを起動し、必要事項を適切に入力可能とし、該当する算定項目。

2-2) 看護科系

項目	診療に関する事項 (分類)	指導(指摘)内容	対応機能	対応内容
8	指導管理料に関する事項	指導管理料を算定した場合は、指導内容・治療計画をカルテに記載することが義務付けられている。(各指導料に基づく(関連する)指導記録)	共通化	指導記録機能よりそれぞれの対応したテンプレートを起動し、必要事項を適切に入力可能とし、該当する算定項目。
9	各管理料に関する事項	抗悪性腫瘍管理料の算定根拠となる検査結果の医師確認、検査結果の診療録への記載が無い	個別	検査結果画面を閉じる際に、腫瘍マーク・薬物血中濃度の検査結果が含まれている場合、対象項目があることをメッセージ表示で促す。(検査結果のカルテ貼り付け)
10	研修医記載に関する事項	臨床研修病院入院診療加算について、研修医の診療録記載に関し、指導医が承認していない	個別	基本はPKGのカウンタサイン機能を利用。但し、各施設の運用により、指導、承認に対する通知、承認機能の個別対応を行なっている。
11	食事変更に関する事項	食事変更を看護師が行った場合の、医師による確認指示が必要。	共通化	職種毎に食種区分選択可否設定を使用して、特別食は看護師単独ではオーダできないように対応。(一般食は変更可)。そのため看護師による特別食変更時は、代行入力を行い医師に承認を求める運用とした。
12	食事変更に関する事項	食事変更を看護師が行った場合の、医師による確認指示が必要。	共通化	職種毎に食種区分選択可否設定を使用して、特別食は看護師単独ではオーダできないように対応。(一般食は変更可)。そのため看護師による特別食変更時は、代行入力を行い医師に承認を求める運用とした。
13	安全管理に関する事項	医療情報システムの安全管理に関するガイドラインによる定期的パスワード変更促進、放置端末タイムアウト、USBメモリダウンロード制限	-	パスワード変更促進=>PKG標準機能 放置端末タイムアウト=>PKG標準機能 USBメモリダウンロード制限=>個別対応(PortShutter、セキュリティサイトで対応)
14	投棄・注射に関する事項	抗菌剤の投与について、不適切な例が認められた	共通化	抗菌剤使用届出管理機能を提供、抗菌薬の長期投与に対するメッセージ機能で抗菌薬管理を行えるように対応

項	診療に関する事項 (分類)	指導(指摘)内容	対応機能	対応内容
15	看護に関わる事項	外来で、指示受けの確認サインが不適切な例が認められた	-	注射、処置に関して対応可能
16	診療録に関わる事項	各種計画書に必要な項目が足らない	個別	必要に応じて、各種画面、帳票で対応

2-2) 歯科系

項	診療に関する事項 (分類)	指導(指摘)内容	対応機能	対応内容
1	診療録 (カルテ1号用紙)	紙のカルテ1号用紙の形式でまとめて表示される画面がない。	共通化	歯科で入力された、病名、所見等を1枚の画面で表示(歯科カルテ1号ビューア)
2	診療録 (カルテ1号用紙)	項目1が対応できた前提で、カルテ1号用紙を印字したい。	共通化	カルテ1号用紙に印字機能を追加(歯科カルテ1号ビューア)
3	診療録 (カルテ1号用紙)	カルテ1号用紙に出力する項目を入力するところがない。	個別	テンプレートで項目を作成。入力された項目をプロファイルへ更新し、カルテ1号用紙に連携
4	診療録 (カルテ2号用紙)	歯周チャート画面、初診診査画面をそのまま履歴画面に表示したい。	個別	歯周チャート画面、初診診査画面をJPEGに変換して、カルテに貼り付ける機能を追加。
5	診療録 (カルテ2号用紙)	処置項目に関する必要カルテ記載項目のもれ。	-	選択された処置項目にひもづけてコメントの選択をすることが可能であり、不足しているものはコメントを追加していただいた。
6	診療録 (カルテ2号用紙)	診療録記載時に、必ず病名を選択させるようにしてほしい。(1日1回)	個別	カルテ保存時(オーダ確定時)に、当日1回も病名が選択されていなければエラーとする。

厚生労働省科学研究(H25-政策-一般-009)

歯科電子カルテシステムに関する現状課題

1. 厚生局の考え方

- ・「歯科電子カルテが存在しない。」が根底にあり、紙カルテが原本として必要と考えられている。
- ・歯科電子カルテに関する指針(システム要件)が各地域(指導官)による裁量で判断されている。

(現状)

歯科電子カルテの普及が開業医に浸透していない。

基準が不明確な為、システムベンダーは開発の優先度を下げる。電子カルテとしてシステム販売していない。

電子保存の三原則を守るシステムの開発が費用的にも、またそれが営業的に売れるかということも困難

→そのため、紙に印刷されるものがカルテをならざるを得ないが、その印刷物に真正性が保たれているか審査側より疑われている。

2. 紙カルテ出力を基本としたシステム要件

◆歯科特有の2号カルテ用紙の様式を要求

- ・カルテ内に点数、負担金額の記載が必要

→カルテ（診療録）と請求（レセプト）が歯科カルテとして混在する。

◆保険診療と自費診療を分けた管理を要求

- ・システム内で管理する診療情報は、明確なデータ格納分離
(分離表示が出来ればよい?)を要求される。

◆紙カルテ印字に対する真正性（印刷日時、印刷履歴）は担保されていない。

◆レセコンをカルテ印字補助システムとして利用

- ・カルテ記載内容の真正性確保より入力の利便性が優先される。

◆電子カルテ上では1号カルテ用紙の記載ルールに従った表示を要求

（現状） 保健請求ルールに準拠を追求する為、請求情報入力時に

カルテコメントを入力、紙カルテ印字によるカルテ作成

（カルテ作成システム：カルテコン）を実施しているケース
が一般的。

3. 歯科システム運用要件

◆患者提供文書が多い

- ・医学管理における患者提供文書が必須。

- ・患者様のサインを頂いた原本保存が必要な文書もある。

→提供文書の保管が煩雑となる。

◆保険診療算定チェック

- ・部位+病名による処置（診療入力）は、保険請求ルールに沿って、各ベンダーが操作面での独自性を持ったナビゲーション、アラート機能を提供している。

→ナビゲーション、アラートの範囲及び強さは、各ベンダーで差異が存在する。

→医院様の要求によるカスタマイズ対応もある。

- ・入力内容に対する整合性のチェック範囲が統一されていない。

→チェック漏れによる医院へのリスク責任が不明確。



現時点における 電子カルテシステムと保険診療の課題

- 医科系
 - 大学病院を中心に指導事項に対する改善は行われているが施設による運用(特に中小病院)の違いからパッケージ化できていない。
 - ベンダー単位での共有化作業は進められている。
 - システム改造に対する職員教育が不十分
 - 必要性に対する認識不足
- 歯科系
 - 『電子カルテもどき』のレセコンシステムが中小ベンダーで作成され、導入されている。
 - 作成時刻を保有しないシステム
 - 電子カルテの3要件の確保と利用者教育
 - 医科に比べて算定手順が複雑である。



今後の方針

- 現在収集しているアンケートの集計
 - 医科系ユーザー (国立大学病院)
 - 医科系ベンダー (電子カルテメーカー: 16社)
 - 歯科系ユーザー (国立大学病院: 歯科)
 - 歯科系ベンダー (電子カルテメーカー: 28社)
- オブザーバー参加メーカーの意見
富士通 NEC IBM OEC

以上の現状分析ならびに厚生局HPからの指導事項項目の拾い上げに基づくシステム構築に向けての問題点整理ならびにシステムのあり方(改善事例の紹介を含めた)についてのガイドライン策定。



ご清聴有難うございました。

研究を進めて行くに当たり、
適切なアドバイスをお聞かせいただければ幸甚です。

平成 25 年 12 月 20 日

国立大学病院・医療情報・企画関連部長会
部長各位

厚生労働省科学研究 (H25・政策・一般・009)

「高度電子情報化に対応した適正な保険診療体制の構築に関する研究」

アンケート

研究代表者 合地明 (岡山大学)

分担研究者 本多正幸 (長崎大学)

趣旨：医療の電子化は、医事会計部門から発展してきたにもかかわらず、保険診療で要求される記録の保存などが構造化されていないために算定要件としてされている記録の欠落や記録の所在確認など、診療部門や医事部門において多大な労を要しているのが現状である。電子カルテのこのような点をどのように改善していけば医療従事者にとって、適正な保険請求を行いつつ適正な保険請求が可能になる機能が十分担保されたツールとなるのか、現状の問題点を明らかにさせる。

経緯：群馬大学名誉教授の酒巻先生が本件を苦慮され、先の部長会で WG を作られ各大学病院への啓発活動がされてきました。その前後において、いくつかの大学病院で特定共同指導が実施され情報共有が進められてきましたが、今回、厚生労働省科学として研究活動が行われています。

今回のアンケートについて：

1. 過去 5 年間において特定共同指導が行われた大学病院では、実施時期および電子カルテ関連で指摘された主な事項とその後ベンダーへの改善を要望した事項に分けて、自由に記載してください。
2. 今後、特定共同指導が行われる予定の大学病院では、予定実施時期(判明していれば)、準備済みおよび準備したい改善事項について、自由に記載してください。
3. その他の大学病院では、本件についてのご意見を自由に記載してください。

締切：2014年1月末日

宛先：メール添付にて、長崎大学 本多正幸 m-honda@nagasaki-u.ac.jp
メールタイトル 「合地班研究アンケート」 お願いします。

※各ベンダーには、本内容について詳細なアンケートを実施予定です。
ご多忙のところ恐縮ですが、ご協力よろしくお願いします。
2月の徳島での部長会で、まとまっていれば結果をお示しします。

☆☆☆☆☆アンケート記入用紙☆☆☆☆☆ (スペースは適宜編集してください)

1. 大学名 : _____

部長名 _____

2. 記載者名 _____

アドレス _____

3. 過去 5 年間において特定共同指導が行われた大学病院にお願いします

@実施時期 : _____

@電子カルテ関連で指摘された主な事項

@ベンダーへの改善を要望した事項

4. 今後、特定共同指導が行われる予定の大学病院にお願いします

@予定実施時期 (判明していれば) : _____

@準備済みおよび準備したい改善事項

5. その他の大学病院にお願いします

本件についてのご意見

適正な保険診療をサポートする電子カルテシステム構築に関する 実態調査アンケート（ベンダー向け）

診療における電子カルテの導入が徐々にですが増加してきております。ご存じのように医療の電子化は医事会計部門から発展してきたにもかかわらず保険診療で要求される記録の保存などが構造化されていないために算定用件とされている記録の欠落や記録の所在確認など診療部門や医事部門において多大な労を要しているのが現状です。

電子カルテのこのような点をどのように改善していくべき医療従事者にとって適正な保険診療を行い、適正な保険請求が可能になる機能が十分担保されたツールとなりうるのか現状の問題点を明らかにさせていただく目的でアンケート調査をさせていただきます。ご協力をお願いします。

厚生労働省科学研究

(H25・政策・一般・009)

代表者 合地 明 (岡山大学病院)

貴社名：

記載担当者：

ご連絡先：TEL

FAX

E-MAIL

Q1. 貴社の電子カルテシステム納入状況について(各々の規模別施設の納入件数をお教えください)

※大規模・小規模病院向の括弧内には、貴社のシステムが対応している病院の規模をおおよそのベッド数でご記入ください。なお、1つのシステムパッケージで対応している場合は1か所に記入し、その旨を記述してください。

※A～Fの括弧内には、貴社のシステム名をご記入ください

※導入施設数の□に、☑をご記入ください (wordの方はクリック)

対応システム名	導入施設数	
	100 以上	99 以下
大規模病院向システム (概ね_____床以上)		
A ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
B ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
中規模病院向システム		
C ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
D ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
小規模病院向システム (概ね_____床以下)		
E ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>
F ()	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>

電子カルテシステム（部門システムを含む）の対応状況について

Q2. 以下の項目について対応状況（最新のパッケージ）をお答えください。

※パッケージ：基本的な機能をパッケージの一部（追加機能として別料金の場合も含む）として提供

※カスタマイズ：基本的な機能がパッケージにない為、個別に開発が必要

注：パッケージを客先の運用に合わせて修正・変更することはこの場合のカスタマイズに含まない

（対応可能な□に☑をご記入ください（wordの方はクリック））

Q2-1. 診療記録

【カルテの様式について】

- ・1号様式の形で展開表示が可能

Q1で回答したA～Fのシステムについて

	A	B	C	D	E	F
・パッケージとして提供	<input type="checkbox"/>					
多くのユーザー（概ね60%以上）で使われている	<input type="checkbox"/>					
あまり使われていない（概ね20%以下）	<input type="checkbox"/>					
使われていない理由（）						
・カスタマイズで提供	<input type="checkbox"/>					
・対応していない	<input type="checkbox"/>					
対応していない理由（）						

- ・3号様式表示機能

	A	B	C	D	E	F
・パッケージとして提供	<input type="checkbox"/>					
多くのユーザー（概ね60%以上）で使われている	<input type="checkbox"/>					
あまり使われていない（概ね20%以下）	<input type="checkbox"/>					
使われていない理由（）						
・カスタマイズで提供	<input type="checkbox"/>					
・対応していない	<input type="checkbox"/>					
対応していない理由（）						

- ・カルテ：研修医の記録および指導医の監査（指導記録記載）機能

	A	B	C	D	E	F
・パッケージとして提供	<input type="checkbox"/>					
多くのユーザー（概ね60%以上）で使われている	<input type="checkbox"/>					
あまり使われていない（概ね20%以下）	<input type="checkbox"/>					
使われていない理由（）						
・カスタマイズで提供	<input type="checkbox"/>					
・対応していない	<input type="checkbox"/>					
対応していない理由（）						

・自由診療記録記載様式と保険診療記載様式の明確な区別

	A	B	C	D	E	F
・パッケージとして提供	<input type="checkbox"/>					
多くのユーザー（概ね 60%以上）で使われている	<input type="checkbox"/>					
あまり使われていない（概ね 20%以下）	<input type="checkbox"/>					
使われていない理由（ ）						
・カスタマイズで提供	<input type="checkbox"/>					
・対応していない	<input type="checkbox"/>					
対応していない理由（ ）						

【病名について】

・ICD10 の併記

	A	B	C	D	E	F
・パッケージとして提供	<input type="checkbox"/>					
多くのユーザー（概ね 60%以上）で使われている	<input type="checkbox"/>					
あまり使われていない（概ね 20%以下）	<input type="checkbox"/>					
使われていない理由（ ）						
・カスタマイズで提供	<input type="checkbox"/>					
・対応していない	<input type="checkbox"/>					
対応していない理由（ ）						

・重複病名警告システム

	A	B	C	D	E	F
・パッケージとして提供	<input type="checkbox"/>					
多くのユーザー（概ね 60%以上）で使われている	<input type="checkbox"/>					
あまり使われていない（概ね 20%以下）	<input type="checkbox"/>					
使われていない理由（ ）						
・カスタマイズで提供	<input type="checkbox"/>					
・対応していない	<input type="checkbox"/>					
対応していない理由（ ）						

・部位記載誘導システム（部位が必要な病名に対して部位入力を促すシステム）

	A	B	C	D	E	F
・パッケージとして提供	<input type="checkbox"/>					
多くのユーザー（概ね 60%以上）で使われている	<input type="checkbox"/>					
あまり使われていない（概ね 20%以下）	<input type="checkbox"/>					
使われていない理由（ ）						
・カスタマイズで提供	<input type="checkbox"/>					
・対応していない	<input type="checkbox"/>					
対応していない理由（ ）						

・状態、症状病名に対する注意喚起表示

	A	B	C	D	E	F
・パッケージとして提供	<input type="checkbox"/>					
多くのユーザー（概ね 60%以上）で使われている	<input type="checkbox"/>					
あまり使われていない（概ね 20%以下）	<input type="checkbox"/>					
使われていない理由（ ）						
・カスタマイズで提供	<input type="checkbox"/>					
・対応していない	<input type="checkbox"/>					
対応していない理由（ ）						

Q2-2. 基本診療料算定について

【施設基準届けに対する要件確認システム】

・入院基本料における看護要員数の検証（勤務実績表の管理）

	A	B	C	D	E	F
・パッケージとして提供	<input type="checkbox"/>					
多くのユーザー（概ね 60%以上）で使われている	<input type="checkbox"/>					
あまり使われていない（概ね 20%以下）	<input type="checkbox"/>					
使われていない理由（ ）						
・カスタマイズで提供	<input type="checkbox"/>					
・対応していない	<input type="checkbox"/>					
対応していない理由（ ）						

・栄養サポートチーム加算のための記録様式

	A	B	C	D	E	F
・パッケージとして提供	<input type="checkbox"/>					
多くのユーザー（概ね 60%以上）で使われている	<input type="checkbox"/>					
あまり使われていない（概ね 20%以下）	<input type="checkbox"/>					
使われていない理由（ ）						
・カスタマイズで提供	<input type="checkbox"/>					
・対応していない	<input type="checkbox"/>					
対応していない理由（ ）						

・褥瘡ハイリスク患者ケア加算のための記録様式

	A	B	C	D	E	F
・パッケージとして提供	<input type="checkbox"/>					
多くのユーザー（概ね 60%以上）で使われている	<input type="checkbox"/>					
あまり使われていない（概ね 20%以下）	<input type="checkbox"/>					
使われていない理由（ ）						
・カスタマイズで提供	<input type="checkbox"/>					
・対応していない	<input type="checkbox"/>					
対応していない理由（ ）						